

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成23年5月6日(2011.5.6)

【公開番号】特開2010-119894(P2010-119894A)
 【公開日】平成22年6月3日(2010.6.3)
 【年通号数】公開・登録公報2010-022
 【出願番号】特願2010-53878(P2010-53878)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】平成23年3月22日(2011.3.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

各々が識別可能な複数種類の識別情報を可変表示する可変表示手段を備え、前記識別情報の可変表示結果が予め定められた特定表示結果となった後に、遊技者にとって有利な特定遊技状態に制御する遊技機であって、

前記特定遊技状態に制御するか否か、及び、前記特定遊技状態に制御するときには当該特定遊技状態が終了した後に通常遊技状態よりも前記特定遊技状態となりやすい特別遊技状態とするか否かを、前記識別情報の可変表示結果が導出表示される以前に決定する事前決定手段と、

遊技領域に設けられて遊技者にとって有利な第 1 状態と遊技者にとって不利な第 2 状態とに変化する可変入賞手段と、

前記特定遊技状態として、前記可変入賞手段を第 1 期間が経過するまで前記第 1 状態に変化させるラウンドの実行回数が第 1 回数となる第 1 特定遊技状態に制御する第 1 特定遊技状態制御手段と、

前記特定遊技状態として、各ラウンドで前記可変入賞手段を前記第 1 状態に変化させる期間が前記第 1 期間よりも短い第 2 期間となることと、ラウンドの実行回数が前記第 1 回数よりも少ない第 2 回数となることの少なくともいずれか一方となり、当該特定遊技状態の終了後には前記特別遊技状態となる第 2 特定遊技状態に制御する第 2 特定遊技状態制御手段と、

前記特定遊技状態となる可能性を予告する予告演出として、互いに演出内容が異なる複数の予告演出のいずれかを実行するか否かを決定する予告決定手段と、

前記予告決定手段によっていずれかの予告演出を実行すると決定されたときに、当該予告演出を前記識別情報の可変表示中にて実行する予告演出実行手段とを備え、

前記事前決定手段は、前記特定遊技状態に制御するとき、前記第 1 特定遊技状態と前記第 2 特定遊技状態のうち、いずれに制御するかを決定する特定遊技状態決定手段を含み、

前記予告決定手段は、

前記事前決定手段の決定結果に基づいて、複数の予告演出パターンが属するグループであって、同じ演出態様を含む予告演出パターンのグループ毎に区分けされた予告演出パタ

ーン種別を、択一的にいずれかに決定する予告演出パターン種別決定手段と、

前記予告演出実行手段が実行する予告演出を指定する予告演出パターンを、前記予告演出パターン種別決定手段により決定された予告演出パターン種別に属する予告演出パターンの中から決定する予告演出パターン決定手段と、

前記予告演出パターン種別を決定するための予告演出パターン種別決定用数値と、前記予告演出パターンを決定するための予告演出パターン決定用数値とを抽出する抽出手段とを含み、

前記予告演出パターン種別決定手段は、前記抽出手段が抽出した前記予告演出パターン種別決定用数値を用いて前記予告演出パターン種別を択一的に決定し、

前記予告演出パターン決定手段は、前記抽出手段が抽出した前記予告演出パターン決定用数値を用いて前記予告演出パターンを決定し、

前記特別遊技状態であるときに前記特定遊技状態決定手段により前記第2特定遊技状態に制御する旨の決定がなされた場合に、前記通常遊技状態であるときに前記特定遊技状態決定手段により前記第2特定遊技状態に制御する旨の決定がなされた場合とは異なる決定割合で、前記複数の予告演出のいずれかを実行するか否かが決定される、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記目的を達成するため、本願の請求項に係る遊技機は、各々が識別可能な複数種類の識別情報（例えば特別図柄や飾り図柄など）を可変表示する可変表示手段（例えば第1特別図柄表示装置4A及び第2特別図柄表示装置4Bや画像表示装置5など）を備え、前記識別情報の可変表示結果が予め定められた特定表示結果（例えば大当り図柄となる確定特別図柄や大当り組合せの確定飾り図柄など）となった後に、遊技者にとって有利な特定遊技状態（例えば大当り遊技状態など）に制御する遊技機（例えばパチンコ遊技機1など）であって、前記特定遊技状態に制御するか否か、及び、前記特定遊技状態に制御するときには当該特定遊技状態が終了した後に通常遊技状態よりも前記特定遊技状態となりやすい特別遊技状態とするか否かを、前記識別情報の可変表示結果が導出表示される以前に決定する事前決定手段（例えば遊技制御用マイクロコンピュータ100のCPU103がステップS250の処理を実行する部分や、ステップS253にて大当り種別を「通常」あるいは「確変」及び「突確」のいずれかに決定する部分など）と、遊技領域に設けられて遊技者にとって有利な第1状態と遊技者にとって不利な第2状態とに変化する可変入賞手段（例えば特別可変入賞球装置7など）と、前記特定遊技状態として、前記可変入賞手段を第1期間（例えば2.9秒など）が経過するまで前記第1状態に変化させるラウンドの実行回数が第1回数（例えば「15」など）となる第1特定遊技状態（例えば15ラウンド大当り状態など）に制御する第1特定遊技状態制御手段（例えばCPU103がステップS253にて大当り種別を「通常」又は「確変」に決定した後、ステップS114～S117の処理を実行する部分など）と、前記特定遊技状態として、各ラウンドで前記可変入賞手段を前記第1状態に変化させる期間が前記第1期間よりも短い第2期間（例えば0.5秒など）となることと、ラウンドの実行回数が前記第1回数よりも少ない第2回数（例えば「2」など）となることの少なくともいずれか一方となり、当該特定遊技状態の終了後には前記特別遊技状態となる第2特定遊技状態（例えば2ラウンド大当り状態など）に制御する第2特定遊技状態制御手段（例えばCPU103がステップS253にて大当り種別を「突確」に決定した後、ステップS114～S117の処理を実行する部分など）と、前記特定遊技状態となる可能性を予告する予告演出として、互いに演出内容が異なる複数の予告演出のいずれかを実行するか否かを決定する予告決定手段（例えば演出制御用CPU120がステップS516の予告演出設定処理を実行する部分など）と、前記予告決

定手段によっていずれかの予告演出を実行すると決定されたときに、当該予告演出を前記識別情報の可変表示中にて実行する予告演出実行手段（例えば演出制御用CPU120がステップS516の予告演出設定処理で決定した予告パターンに基づき、ステップS517にて予告演出制御パターンを決定した後にステップS535の演出制御指令処理を実行する部分など）とを備え、前記事前決定手段は、前記特定遊技状態に制御するときに、前記第1特定遊技状態と前記第2特定遊技状態のうち、いずれに制御するかを決定する特定遊技状態決定手段（例えばCPU103がステップS253にて大当り種別を「通常」及び「確変」のいずれか、あるいは「突確」に決定する部分など）を含み、前記予告決定手段は、前記事前決定手段の決定結果に基づいて、複数の予告演出パターンが属するグループであって、同じ演出態様を含む予告演出パターンのグループ毎に区分けされた予告演出パターン種別を、択一的にいずれかに決定する予告演出パターン種別決定手段と、前記予告演出実行手段が実行する予告演出を指定する予告演出パターンを、前記予告演出パターン種別決定手段により決定された予告演出パターン種別に属する予告演出パターンの中から決定する予告演出パターン決定手段と、前記予告演出パターン種別を決定するための予告演出パターン種別決定用数値と、前記予告演出パターンを決定するための予告演出パターン決定用数値とを抽出する抽出手段とを含み、前記予告演出パターン種別決定手段は、前記抽出手段が抽出した前記予告演出パターン種別決定用数値を用いて前記予告演出パターン種別を択一的に決定し、前記予告演出パターン決定手段は、前記抽出手段が抽出した前記予告演出パターン決定用数値を用いて前記予告演出パターンを決定し、前記特別遊技状態であるときに前記特定遊技状態決定手段により前記第2特定遊技状態に制御する旨の決定がなされた場合に、前記通常遊技状態であるときに前記特定遊技状態決定手段により前記第2特定遊技状態に制御する旨の決定がなされた場合とは異なる決定割合で、前記複数の予告演出のいずれかを実行するか否かが決定される（例えば演出制御用CPU120が、ステップS747にて表示系予告パターン決定テーブル170A～170Cのいずれかを参照して表示系予告パターンを決定する部分や、ステップS754にて部材系予告パターン決定テーブル172Aを参照して部材系予告パターンを決定する部分など）。